

「秋田大学学生海外派遣支援事業」帰国報告書

記入日:2014年 3月 7日

所属:教育文化学部 国際言語文化課程 欧米文化選修3年次

氏名:菅原 幸

派遣先大学名:国立ハンバット大学校(大韓民国)

在籍身分:交換留学生

派遣期間:2013年 2月 ~ 2014年 1月

渡航年月日:2013年 2月28日

帰国年月日:2014年 1月30日

○派遣先大学における授業などの履修状況

学期	科目名	単位	時間数(合計)
1	Korean Reading & Writing (Intermediate)	3	37.5 時間
2	Korean Reading & Writing (Advanced)	3	37.5 時間
1	Korean Listening & Speaking (Intermediate)	3	37.5 時間
2	Korean Listening & Speaking(Advanced)	3	37.5 時間
1	Intensive Korean (Intermediate)	3	37.5 時間
2	Intensive Korean (Advanced)	3	37.5 時間
1	English Listening Comprehension(1)	2	25 時間
2	English Listening Comprehension(2)	2	25 時間
2	English II	3	37.5 時間

○研究・学習概要及び今後の勉学計画

ハンバット大学では、留学生のために韓国語の授業が開設されています。

レベルも初級、中級、上級と別れているので、自分のレベルに合わせて聴講することができます。私は1学期に中級、後期は上級を受講しました。渡航したての頃は全く

韓国語ができない状態だったので苦労しましたが、先生方が理解できるまで何度も丁寧に説明して下さったおかげでなんとか授業についていくことができ、後期では高級の授業を苦なく聞くことができました。

日本人は私一人でした。他の国からは、中国、モンゴル、フィリピン、タイ、パキスタンなどアジアからの留学生が主でした。

授業を受けていた建物



○生活面について

私は学内の学生生活館に住んでいました。ルームメイトとの2人部屋でした。日本では寮の1人部屋に暮らしていたので、初めての共同生活に戸惑いました。前期はモンゴル人のルームメイトだったのですが、言葉が通じないだけでなく、生活スタイルも全く違うので初めは本当に苦労しました。ですが、後期からは韓国人の友人と暮らせることになったので大きな問題もなく、本当の家族のように何でも話せる関係を築き上げることができました。



友人との全州旅行

また、ルームメイトのおかげで韓国語の実力も大きく伸びることができました。食事は辛い物がほとんどで初めは全く食べることができませんでしたが、徐々に慣れていきました。今では、辛い物を食べないと物足りないと感じるほどです。

○その他留学全般にわたる感想

一年間という短い期間でしたが、様々なことを学び、経験し、本当に有意義なものになりました。生涯忘れられない最高の思い出です。これも全て派遣させて下さった秋田大学をはじめ、ハンバット大学の皆様のおかげです。辛いことも沢山ありましたが、そのたびに友達や先生の支えがあり、無事に留学を終えることができました。本当にたくさんの方に感謝しています。

この経験を活かし、国際交流に尽力できる職業に就こうと考えています。本当にありがとうございました。

秋田大学へ留学していた友人と

